

# 新潟県人口減少問題対策推進県民会議ワーキング 第1回、第2回における主な意見について

資料3

## 【第1回】既婚の方、まもなく結婚を予定している方、婚活中の方

○日時：令和7年12月17日（水）19:00～20:30（オンライン（ZOOM））

○参加者数：11名（男性5名、女性6名）（既婚6名、結婚予定3名、婚活中2名）（20～24歳2名、25～29歳2名、30～35歳7名）

### 男女共通した主なコメント

#### 【結婚したきっかけ・決断したタイミング】

・収入面で安定する見通しが立ったことで、結婚の決断や本格的な婚活開始につながった。

#### 【結婚に対するハードル】

・結婚式、引越し、住居など、結婚に係る経済的負担が大きい。（結婚前に想定していたよりも、結婚してからお金がかかるということに気づいた。）

#### 【結婚したくなる環境・結婚への支援】

- ・新婚生活に対する経済的支援（給付金、住宅、時短家電等）
- ・結婚支援制度や手続きの流れについて分かりやすく知ることができるといい。

### 男性グループからあった主なコメント

#### 【結婚したきっかけ・決断したタイミング】

・幼い頃から結婚に対し、前向きなイメージを持っていた。

#### 【結婚に対するハードル】

- ・必ずしもマッチングするとは限らず、婚活パーティーやアプリについて、経済的負担が大きく感じる。
- ・マッチングアプリ等において、結婚に対する本気度が人により異なり、マッチングまで至らないケースがある。
- ・価値観が合う人に出会うことが難しい。

#### 【結婚したくなる環境・結婚への支援】

- ・仲人さんのように引き合わせを行う制度があればよいと思った。誰かに「この人はどう」と紹介されたい。
- ・結婚相手の紹介など成婚を仲介した人に対し、特典を設けるなどインセンティブ付与があるといい。
- ・家事のノウハウを学ぶなど男性側の魅力アップにつながるようなイベントや、マッチングしない場合のアドバイスがあるとうれしい。
- ・結婚支援に取り組む企業を支援してもよいのでは。

### 女性グループからあった主なコメント

#### 【結婚したきっかけ・決断したタイミング】

- ・周りが結婚をしたことに対する憧れや焦りがあった。
- ・互いに結婚を意識しており、価値観も一致していたことで、決断までは早かった。

#### 【結婚に対するハードル】

- ・姓や戸籍の本籍を変更することについて抵抗があった。変更にかかる手続きが大変だった。
- ・結婚後は新潟で暮らしたいが、自身が携わりたい仕事の就職先が県内になかなかない。
- ・結婚にあたり収入面をはじめ様々な点でわからないことが多いが、相談先が見つからない。

#### 【結婚したくなる環境・結婚への支援】

- ・出産・不妊治療などの金銭面が不安要素となるため、経済的支援を手厚くしてほしい。
- ・結婚に関する手続きをスムーズにできるようにしてほしい。（銀行手続の夜間、土日実施等）
- ・新婚やカップル向けのイベントを実施してほしい。
- ・新婚世帯に対する経済的支援における所得や年齢要件を撤廃してほしい。
- ・ライフプランについて相談できる場所があればいい。

## 【第2回】未婚の学生・若手社会人等

○日時：令和8年1月14日（水）19:00～20:30（オンライン（メタバース））

○参加者数：11名（男性4名、女性7名）（学生2名、社会人9名）（18～19歳2名、20～24歳3名、25～29歳5名、30～35歳1名）

### 男女共通した主なコメント

#### 【結婚に対するハードル】

- ・自己研鑽や自由な時間が減ってしまう。
- ・家族を養うことになるので、経済面で不安がある。
- ・現在の収入から自分以外にお金を使うことは考えられない。
- ・出会いの機会がなかなかない（社会人になって。県外から新潟に来て。大学に異性学生が少ない等）

#### 【結婚したくなる環境・結婚への支援】

- ・金銭面の負担が大きいことや収入面に不安があるので、経済的支援があるといい。（結婚に伴う転居費用、お祝い金、子育て中の家事代行・ベビーシッター）
- ・男性も女性も共に家事・育児を行う環境づくりが必要。
- ・結婚の支援制度をよく知らないところがある。行政の支援策がしっかりと伝わるよう周知することが必要。

### 男性グループからあった主なコメント

#### 【結婚に対するイメージと自身の意向】

- ・単身での暮らしから、共同生活に変わることに対して不安を感じる。
- ・結婚に対して前向きに捉えているが、周りでこどもの病気等で早退する職員を見ると、仕事と子育ての両立に不安を感じる。

#### 【結婚に対するハードル】

- ・一人っ子で、年下の弟や妹のお世話のような経験がないことや、昔から赤ちゃんや小さい子に触れ合っただけでなかったこともあって、本当に自分が子育てできるのかという不安を感じている。
- ・結婚するとこれまでの友人関係が希薄になってしまう（飲み会等に参加しづらくなる）。

#### 【結婚したくなる環境・結婚への支援など】

- ・身近で子育てを楽しんでいる人を見て、子育てにはポジティブに捉えている。子育て世代への支援が充実したり、子育て環境が充実していると結婚に前向きになれるかもしれない。
- ・結婚・子育ての悩みを相談する窓口やコミュニティがあるといい。
- ・自身のキャリアについて、高校などの若いころに考える機会があればよかった。また、Uターンのモデルケースを知ることができればよかった。

### 女性グループからあった主なコメント

#### 【結婚に対するイメージと自身の意向】

- ・以前は結婚願望を強く持っていたが、出会いの場が多くなく、また、結婚に進むような相手にも出会えず、不安になっている。
- ・プラスのイメージもマイナスのイメージも持っていないが、今は生活が楽しく自由を奪われる結婚について考えることができない。
- ・今は自分のキャリアを優先したい。

#### 【結婚に対するハードル】

- ・姓を変更することについて不満・疑問がある。
- ・女性の家事・育児の負担が大きい。
- ・結婚した兄弟を見ていると相手の両親との付き合いが大変そうで、自分には無理だと感じる。

#### 【結婚したくなる環境・結婚への支援など】

- ・新潟県での出会いの場となる機会やイベントがもっとあるといい。
- ・運営している会社が信頼できるか不安があるため、証明書により独身者を確認するなど自治体による安心できる出会いの場（マッチングシステム、イベント等）を充実してほしい。
- ・「家事や子育ては女性がやるべき」という意識が依然としてあるため、2人で家事をすることが当たり前となるような社会に向けて、固定的性別役割分担意識の解消が必要。
- ・出産のリミットがある一方で、仕事のキャリアへの不安があり結婚できない人もいるため、卵子凍結への補助があるといい。

○第1回ワーキングにおける個別のコメント概要について（既婚の方、結婚予定の方、婚活中の方）

| テーマ   | 男性グループ   | 女性グループ   |
|---|--|--|
| 結婚したきっかけ・決断したタイミング  | <p>○自身の親が若くして結婚したことから、できるだけ早く結婚したいと思っていた。元々、今の相手との結婚を希望していたが、授かったことをきっかけに結婚した。</p> <p>○小さい頃から結婚に憧れがあり、結婚するのが普通と考えていた。職場関係で相手を紹介された。</p> <p>○比較的結婚はしたいと思っていたところ、30代から真剣に考えるようになった。結婚のきっかけとしては、結婚に対する価値観が合っていたので、付き合い始めてから1年未満での結婚となった。</p> <p>○結婚願望自体はあったが、経済的な面からなかなか踏み出せなかった。ある程度見通しがつき、本格的に婚活を始めた。</p> <p>○周囲での孤独死の話聞いたことをきっかけに、互いに精神的・経済的にも支え合う人生のチームを作りたいと、結婚について真剣に考えるようになった。</p>                                   | <p>○周りの友人が結婚していくことに対する憧れや焦りなどから、結婚を意識するきっかけとなった。【複数名】</p> <p>○結婚を前提にしたお付き合いを考えていたところ、元々知っていた友人ということもあり、結婚を決めるまでは早かった。</p> <p>○知り合った当時から結婚は早いほうがいいとお互いに意識しており、結婚までのタイミングも比較的早かった。</p> <p>○結婚相談所に入会し、結婚に関する価値観などが今の相手と一致したことで、すぐに成婚に至った。違うなという方は感覚的にはっきりと分かった。</p> <p>○交際相手が転職し、経済的な面で安定していくことが見込まれたこともあった。</p> <p>○お互いに結婚を意識しており、双方の趣味や仕事などの価値観が一致していたこともあった。交際にあたっては結婚が前提となっていたもの。</p>   |
| 結婚に対してハードルに感じたこと  | <p>○婚活にかかる経済的負担が大きく感じている。街コンやアプリに関してもマッチングするとは限らない。</p> <p>○これまでの婚活において、自身では簡単に変えられないことを条件とされているように感じることもあった。</p> <p>○マッチングアプリ等に登録する人でも、人によって結婚に対する本気度が異なる。女性の社会進出が進む中で、男性の費用負担が高いことが多い。</p> <p>○結婚自体が目的ではなく、相手と添い遂げるという点で、生活スタイルや経済的な価値観が一致していなければならないと考える。</p> <p>○金銭的な価値観が合わない人との結婚生活は、お互いにうまくいかない可能性があると考えている。</p> <p>○結婚の準備や生活を進めていく中で、結婚式や新居をはじめ、子育てなどにかかる経済的な負担があることがわかり、お金について不安に感じており、経済面は結婚のハードルになりうると感じた。</p> | <p>○不安の1つとして、経済的な面が大きい。自治体が行っている引越費用への支援も活用したいと思っている。子どもが生まれたときに今の賃金でやっていけるか不安。</p> <p>○子どもがほしいと考えているが、子育てに体力が追いつくかが不安。子どもを授かるかどうか不安に感じている。【複数名】</p> <p>○姓や戸籍を変える際に名義変更の手続きが煩雑で、一括でできたらよいと思った。特に日中しか手続きができないものなどで、時間を作るのが大変だった。</p> <p>○結婚式の準備をする中で費用が結婚前の想定よりもかかってきている。子どもについては今後だが、経済面をしっかりと考えていく必要があると感じている。</p> <p>○結婚を機に退職して来県したが、再就職にあたり、ある程度勤務期間を経ないと育休・産休手当がもらえない可能性があり、子どもを授かるタイミングに悩んでいる。</p> <p>○結婚にあたり新潟に戻りたいが、自身がしたい仕事の就職先がなかなか見つからない。周りの友人でもまだ仕事をしたくて結婚しない、仕事に価値を見出しているから結婚までいかないという友人もいる。</p> <p>○いくらあれば、何を決めていたら結婚していいタイミングなのかなど、わからないことが多いが、その相談先が見つからない。</p> |
| 「こういう環境だったら結婚したくなる。こういう支援があったら結婚しやすい（結婚後こういった支援があったらいい）」と思うこと | <p>○出会いの場でも人によって本気度の濃淡があり、本気度がわかるようにしてもらえると、結婚に向けてスムーズに進むのではと考える。</p> <p>○参加費を男性側だけ高くするのではなく、男性が家事のノウハウを学ぶなど男性の魅力アップにつながるようなイベントや、マッチングしなかった場合のアドバイスがあると嬉しい。</p> <p>○結婚する際に時短家電の購入が補助されるなど、結婚することのメリットが充実することで、互いに前向きになるのではと考える。</p>   | <p>○周りに不妊治療をしている人も多いが、支援があまり手厚くないように感じている。また、出産費用などの金銭的な面が不安要素となるため、経済的支援を手厚くしてほしい。</p> <p>○出産についてもしっかりした支援をしてほしい【複数名】</p> <p>○結婚にあたって引越や新居に係る費用の支援拡充をしてもらえるとありがたい。</p>  |

| テーマ  | 男性グループ   | 女性グループ   |
|--|--|--|
| <p>「こういう環境だったら結婚したくなる。こういう支援があったら結婚しやすい（結婚後こういった支援があったらいい）」と思うこと</p> | <p>○初対面同士で会うということに抵抗感があり、コミュニケーションを避ける人もいる。新潟県主催のマッチングシステムは初対面において引き合わせ役がいることは、首都圏や大手企業のシステムにない強みだと考えている。</p> <p>○男性・女性双方に対して、初対面でのコミュニケーションから結婚までの流れがわかるようなプログラムがあってもいい。</p> <p>○結婚後の住居は大切であり、極端な話で言うと、結婚して新潟に住む方には家を用意するといった制度があれば結婚へのモチベーション向上となる。</p> <p>○行政の結婚支援制度が、もう少しわかりやすく周知されているとよい。</p> <p>○現在付き合っているカップルに対して、結婚奨励金などを支給することで、結婚の後押しをすることができるのではと考える。</p> <p>○結婚相手の紹介など成婚を仲介した人に対して特典を設けるなどインセンティブ付与があれば紹介する人の動機付けとなったり、この人の紹介であつたらという安心感を与えることができる。</p> <p>○今のマッチングシステムでは様々な方の中から自身で選んでいくシステムとなるが、仲人さんのように引き合わせを行う制度があるとありがたい。お見合いや仲人のような方の推薦であると安心できる部分がある。</p> <p>○結婚支援に取り組む県内企業を支援してもよいのでは。</p> | <p>○自治体の結婚支援において、夫婦の年収が支援基準額を超えて対象から外れてしまった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前年まで自身が就職していたため、対象外となってしまった。</li> <li>・年齢によって金額に差がつけられている。</li> </ul> <p>⇒経済的支援における所得や年齢要件をなくしてほしい。【複数名】</p> <p>○姓が変わることによる名義変更の手続きが一括でできたり、手続きの時間帯も働いている人向けに平日昼間以外でも対応するなど、スムーズにできるようにしてほしい【複数名】</p> <p>○新婚限定での家賃補助や、スーパーなどの割引カードがあると生活もしやすくなる。県の支援制度であるマリパスについて、県内の加盟店が増えるとありがたい。【複数名】</p> <p>○自身の姓に愛着を持っているが、割合的には女性が変えるほうが多く、夫婦別姓があつたらありがたい。</p> <p>○自分の住んでいる市町村の支援制度は調べたが、県全体の支援制度の一覧があるといい。また、手続きをどのように行えばスムーズかわかりやすくまとめてもらいたい。</p> <p>○子ども向けのイベントは多くあると思うが、カップルや新婚向けのイベントがあれば、カップルの結びつきも強くなるのではと考える。</p> <p>○結婚で県外から移ってくる場合、拠点を置くために地域を知ることができる機会がほしい。ライフプランに関する相談ができればいい。県外の若者に新潟への移住支援策における、要件となる県外在住期間を短くしてほしい。</p> |
| <p>その他</p>   | <p>■自身の結婚願望は周りと比べてどうだったか。</p> <p>○周りの方が勤務先をしっかりと選んだり、大学時代から自炊をがんばったりと、結婚を意識していた人が多かったかもしれない。</p> <p>○結婚願望は周りに比べると強いほうだったと考えている。これまでは自分ほど結婚したいという人は男女含めてあまり多くなかったと思っている。</p> <p>■ハートマッチにいがたについて</p> <p>○ハートマッチにいがたに登録していて、申請して5日くらい返事が来ない場合があり、できれば2～3日くらいで結果がでてくれるとうれしい。</p>   | <p>■子どもを持つことに関して</p> <p>○未就学児までは地元の育児手当などの支援が手厚いので、地元で育てたいと考えている。また、結婚相手が全国転勤の仕事であるが、子どもがいるのであれば、子育てを優先して住居を考えるかもしれない。</p> <p>○子どもが遊べる場所について、わかりやすいサイトやリストがあつたらうれしい。</p> <p>○まずは家を建てて子どもを育てられる環境を整えたい。</p> <p>■その他</p> <p>○結婚したくともお互いの事情で結婚のかたちにまで持っていけない人もおり、結婚した人だけがサービスを受けることについて、考えるところもある。</p>  |

## ○第2回ワーキングにおける発言者のコメント概要について（未婚の学生・若手社会人等）

| テーマ                | 男性グループ  | 女性グループ   |
|--------------------|---|--|
| 結婚に対するイメージと自身の意向   | <p>○単身での暮らしから共同生活に変わることに対して不安を感じ、現時点だと結婚に対しては慎重に考えており、消極的な立場。</p> <p>○周囲が結婚しはじめて、自身も結婚を意識している。現状はあまりいい縁がないが、いずれは結婚したいと思っている。職場の人にも結婚に聞かれることが増えてきた。</p> <p>○学生時代は結婚は遠いイメージだったが、今の職場では比較的若く結婚している方がおり、身近に感じている。結婚したいという強い思いはまだ芽生えておらず、いい人がいたらいいタイミングでという程度。</p> <p>○結婚するときに今いる住居地と新潟のどちらかに拠点を置くか決めかねており、結婚に対して一種不安定なものを感じている。周囲に結婚している人が少なく、結婚に対する実感はあまりわからない状況。</p> <p>○周りでこどもの病気等で早退する職員を見ていて、仕事と子育ての両立は難しそうというイメージ。</p> <p>○社会人になってから身近な人たちが結婚しはじめ、結婚に対する意識は高まったように感じる。家庭を持ち子育てをしています、というような投稿をSNSで見たりすると身近に感じる。</p>   | <p>○結婚しているか、していないかで、会話等で明確に区分されているような状況があり、あまりいいイメージを持っていない。</p> <p>○以前は結婚願望を強く持っていたが、出会いの場が多くなく、また、婚活イベントなどに参加しても結婚に進むような相手にも出会えず、不安になっている。</p> <p>○両親の姿を見て結婚に対してはどちらかというイメージを持っている。県外出身で雪に不慣れであり、結婚生活は地元に戻ることを考えている。</p> <p>○プラスのイメージもマイナスのイメージも持っていないが、今は生活が楽しく自由を奪われる結婚について考えることができない。</p> <p>○自身よりも上の世代は結婚は当然するものというイメージがあるように感じる一方で、下の世代では結婚するしないを選べる環境になっていると思う。離婚が多いことを聞いたり、あまりうまくいっていないというような話を聞くと結婚について考えてしまう。</p> <p>○自分の時間が子育てやパートナーとの共同生活に取られる気がして今は考えられない。</p> <p>○こどもがほしいと考えており、そろそろ結婚を前提とした出会いをしたいという思いはある一方で、まだキャリア優先で生活をしている。</p>  |
| 結婚に対してハードルに感じることは？ | <p>○結婚をしている友人に飲み会に誘っても家庭の都合により都合が合わせづらくなるなど、疎遠になってしまうかもしれないと感じている。</p> <p>○結婚することで、家族を背負う責任を重荷に感じてしまうところがある。自身の生活も思い通りにならない中で、こどもいる生活はハードルが高いと感じている。</p> <p>○結婚する際に、自身と結婚相手のキャリアをどのようにしていくかイメージがつかない。また、こどもを持つことになったときに金銭面も長期的に考えなければならない。自分自身で新しくやりたいことができなくなるかもしれない。</p> <p>○まだ学び足りないことがあるので、結婚するとそういったことに対する自己研鑽の時間がなくなってしまうと考えており、もう少し落ち着いてからにしたい。</p> <p>○こどもができた際に子育てがしっかりできるかというところがハードルに感じている。自分自身が1人っ子で、年下の弟や妹のお世話のような経験がないことや、昔から赤ちゃんや小さい子に触れ合っただけでこなかったこともあって、本当に自分が子育てできるのかという不安を感じている。</p> <p>○学生の頃と比べて、社会人になると出会いの機会が圧倒的に減っている。</p> <p>・交際にあたって結婚も見据えて付き合っていかなければと考えると、身構えてなかなか積極的に動けないこともある。</p> <p>・出会いの機会は自身で努力しなければならないとは思っているが、現在は一歩踏み出す勇気がなかったり、自身の生活で精一杯なため、もう数年で落ち着いてからでもと考えている。【複数名】</p> <p>○大学も男子学生の割合が高いため出会いがあまりなく、今後マッチングアプリをはじめいろいろな方と出会ってみたいと考えている。将来、一緒にUターンで新潟に戻ってくれるような人をどうやって探すかというのは悩み。</p> | <p>○結婚をするためにどんな準備や費用が必要であったり、結婚するとどのような状況になるかイメージが湧かない。周囲の結婚している人にも細かい点については聞きづらい。</p> <p>○そこまで深くは考えていないが、引越や転職などもありうるかと思っている。また、こどものために貯金をしなければならないことや、自分以外のことを考えなければならないことが増えるように感じている。</p> <p>○金銭面がハードルとなる。近年の婚活では割り勘が当たり前となっており、その中で共働きをしたとしても、自身が育休に入ったときに家計を支えてもらえるか不安になった。</p> <p>○男性・女性に関わらず、姓を変更することについて不満・疑問を持っている。また、自分以外に大切な人が増えることで、責任を持って生活できるかというところは不安に感じている。</p> <p>○女性側の方が家事育児の負担が多く、自由時間が減ることがハードルに感じる。</p> <p>○物価高などの現状で、自分以外にお金を使うことが想定できない。また、結婚した兄弟を見ると相手の両親との付き合いが大変そうで、自分には無理だと感じる。</p> <p>○新潟に来てから、なかなか出会いがない。また、今後キャリアや生活に変化があることが予想され、自分中心での生活拠点やライフスタイルを形成する上で、結婚はまだできない。</p> |

| テーマ  | 男性グループ  | 女性グループ  |
|--|---|---|
| <p><b>結婚に関して、「こういう環境だったら結婚したいと思う、こういう支援があったらいい」と思うことは？</b></p> | <p>○ハートマッチにいがたなどの県の施策についてラジオを聴いて初めて知った。あまり若い人に浸透していないかもしれない。また、写真登録や面談を行って登録することが必要となるなど、もう少し始めやすい方がいいかと思った。</p> <p>○お子さんがいて子育て中で働いている先輩パパママに対する支援が増えていくのを見ることができれば、自身としても結婚に前向きに考えられるのではと考える。</p> <p>○今の会社では、急遽仕事を抜けなければならない場合、抜けた時間分を他の時間で仕事ができるといった柔軟な対応ができる。子どもが発熱した際も駆けつけことができ、そういった会社の制度があるといい環境となるかもしれない。</p> <p>○県外にでてはじめてUターンについて考えるようになったが、高校などの若い段階でこうしたUターンのモデルケースを知ることができればよかった。</p> <p>○周りと話をするとう結婚で困ったときの相談先がないという悩みが多い。相談できる機関や、当事者間で情報交換できるコミュニティがあればもっと前向きに不安を解消できるかと考えている。</p> <p><b>【複数名】</b></p> <p>○県で取り組んでいる支援策の情報発信を強めていくことや、このような場で意見を発信できる機会があるとよい。</p> <p>行政の支援策を知らない若者が多いため、インフルエンサーと連携してSNSで周知することや、企業や団体を巻き込んで進めていけたらいい。</p> <p>各自治体ごとの支援策がわかるような情報発信サイトのようなものがあるとよいと考える。</p> <p>⇒行政の支援策がしっかり伝わるよう周知することが必要<b>【複数名】</b></p> | <p>○県外出身からすると、新潟県内では出会いの機会が少ないと感じており、独身者向けのパーティーや出会いのイベントがもっとあればいい。</p> <p>○出産のリミットがある一方で、仕事のキャリアへの不安があり結婚できない人もいるため、卵子凍結への補助があるといい。</p> <p>○自由時間がなくなることがデメリットに感じており、例えば家事代行サービスや保育サービスが価格的に手軽にできるような制度があればいい。</p> <p>○結婚に伴う転居費用など、経済的な支援は必要となってくる。また、これまでの婿入り嫁入りというような「家」を中心とした結婚感を少しずつ変えていくことや、結婚に関連する手続きの簡略化を進めていくことが必要。</p> <p>○運営している会社が信頼できるか不安があるため、証明書により独身者を確認するなど自治体による安心できる出会いの場（マッチングシステム、イベント等）を充実してほしい。</p> <p>○実家が県外のため、結婚後に喧嘩をした際などに頼れる場所があるといい。</p> <p>○「家事や子育ては女性がやるべき」という意識が依然としてあるため、2人で家事をすることが当たり前となるような社会に向けて、固定的性別役割分担意識の解消や男性も共に家事・育児を行う環境づくりが必要。</p> <p>○結婚にあたって、今の二人の年収ではどのような暮らしが想定されるなど、気軽に個別に相談ができる窓口があるといい。</p> <p>○県外から来ており新潟県の人と出会う機会がなく、友達同士でも気軽に参加できるような規模の大きいイベントが増えてほしい。イベントで知り合った友人を通じての紹介など、今後の結婚に繋がる道筋が増えることが期待される。</p> <p>○結婚はハードルが高いように感じており、結婚トライアル制度のようなものでハードルが低い状態で結婚生活を始める仕組みはできないか。また、結婚生活において互いの価値観のすれ違いなどがあると聞いており、カップル向けのカウンセリングがあってもよいと考える。</p> <p>○自立した女性が増え、正式な結婚の事務手続きをしたことに対して、祝い金や家賃補助がでるなどのインセンティブでメリットを感じられるようにしたほうがよい。</p> <p>○共働きで子育てするのが理想的な結婚と考えており、家事代行サービスやベビーシッターさんを雇いたいが、新潟にはそのサービスがあまりないと感じている。</p> <p>○夫婦別姓の制度も許されるようになれば、手続き面でも結婚しやすくなると思う。</p> |
| <p><b>その他</b></p>  | <p>■子どもについて</p> <p>○子どもを授かることができた場合、まずは子どもを優先したい。そのため、育休などをとれるような職場を選びたい。</p> <p>○子育てをする場合は、支援や学びの場など、子どもが挑戦できる場が多いところに住みたい。</p> <p>○自身の身近な人たちが、子どもをとて可愛がっており、子育て自体には前向きに捉えている。また、自分が住んでいる地域が、子どもにとってよい環境なのか、習い事やスポーツを取り組ませることができるかどうかが大切と考えている。</p>  | <p>■最近、結婚に関することで気になること等</p> <p>○出会いに関しては、同世代だと恋愛マッチングアプリを使用したり、Instagramのコメントを通じて交際を始めるという人もいると聞く。</p> <p>○マッチングアプリを使用している。職場で結婚したなどという人もたくさんいると思うが、仕事関係での出会いから、どのようにプライベートにつながっていくか気になる。</p> <p>○最近出会いの場として、社会人サークルがある話を聞いているが、新潟に来る際に調べたがあまりなさそうだった。</p> <p>○周囲で結婚した人は同じ高校出身など地元での出会いが多いという印象。他はあまり出会いがなく、新潟に来てから恋愛の話を聞かなくなった。</p> <p>○結婚の相手方と価値観が100%一致することはできないので、どのくらいを許容して結婚に踏み切るのが個人的に気になっている。</p> <p>○最近では、AIにより交際相手の候補を紹介してくれるようなシステムもあるように聞いているが、個人的には抵抗感がある。周囲を見ていると、行きつけのお店の人による紹介、公的機関が実施する婚活を前提とはしないイベントや、民間による街コンなどで結婚相手を見つけた人がいると聞いている。</p>   |